

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公開番号】特開2006-160607(P2006-160607A)

【公開日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2006-024

【出願番号】特願2004-349225(P2004-349225)

【国際特許分類】

A 6 1 K	47/04	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	31/167	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	23/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	47/04
A 6 1 K	9/06
A 6 1 K	31/167
A 6 1 P	1/02
A 6 1 P	23/02
A 6 1 P	25/04
A 6 1 P	35/00

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

リン酸またはその薬学上許容される塩またはこれらの混合物を配合することを特徴とする局所麻酔薬物含有のゼリー剤。

【請求項2】

リン酸イオン濃度が、2.0w/w%の局所麻酔薬物当たり少なくとも90mM以上である、請求項1記載のゼリー剤。

【請求項3】

局所麻酔薬物がリドカインまたはその薬学上許容される塩またはその混合物である請求項1または2に記載のゼリー剤。

【請求項4】

局所麻酔薬物を2w/w%以上含有していることを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載のゼリー剤。

【請求項5】

更に有機酸またはその塩が添加され、2.0w/w%の局所麻酔薬物当たり30mMとなる量を含有する請求項1～4のいずれかに記載のゼリー剤。

【請求項6】

有機酸がクエン酸である請求項1～5のいずれかに記載のゼリー剤。